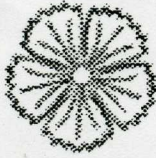
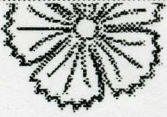


主催 倭文会 後援 瑞祥寺

斉藤春子 地歌(三絃) 箏曲(箏)

文月の会

第十七回



▼とき 平成十九年七月一日 開演 午後三時

▼ところ 瑞祥寺 大阪市淀川区三国本町一十四丁二六

入場料 二千円

この音楽は十六世紀半ごろ上方(大阪・京都)で生まれた優美な叙情歌。
江戸時代海外の音楽の影響を受けることなく日本独自の感性が織りなしたものです。
本来の趣で楽しんでいただこうという会です。

演目

嗟峨の秋 藤戸 夕顔 笹の露

賛助

倉橋義雄(尺八) 倉橋文子(箏) 平野麻子(胡弓)
アグネスカ・マーシエッツ(三絃)

お話

広瀬依子(『上方芸能』編集次長)

▼瑞祥寺へのアクセス

- ・新大阪駅(JR・地下鉄4番出口)徒歩15分
- ・三国駅(阪急電車)徒歩15分
- ・西宮原2丁目(バス)徒歩1分

メルバルク前の通り西へ繊維シティーを通過して、歩道橋を過ぎて
すぐ南側の昭和ビル(1階ダイソー)入って左エスケイター5階

お問い合わせ 瑞祥寺 ○六―六三九二―〇七七七 【昭和製作所内】

倭文会 ○六―六四五八―七〇三〇

